

F. Mitsuhashi

# 双塔



1962. 3

45号

昭和三十七年三月一日発行  
新潟教区長認可  
新潟カトリック教会「双塔」  
オ四五号

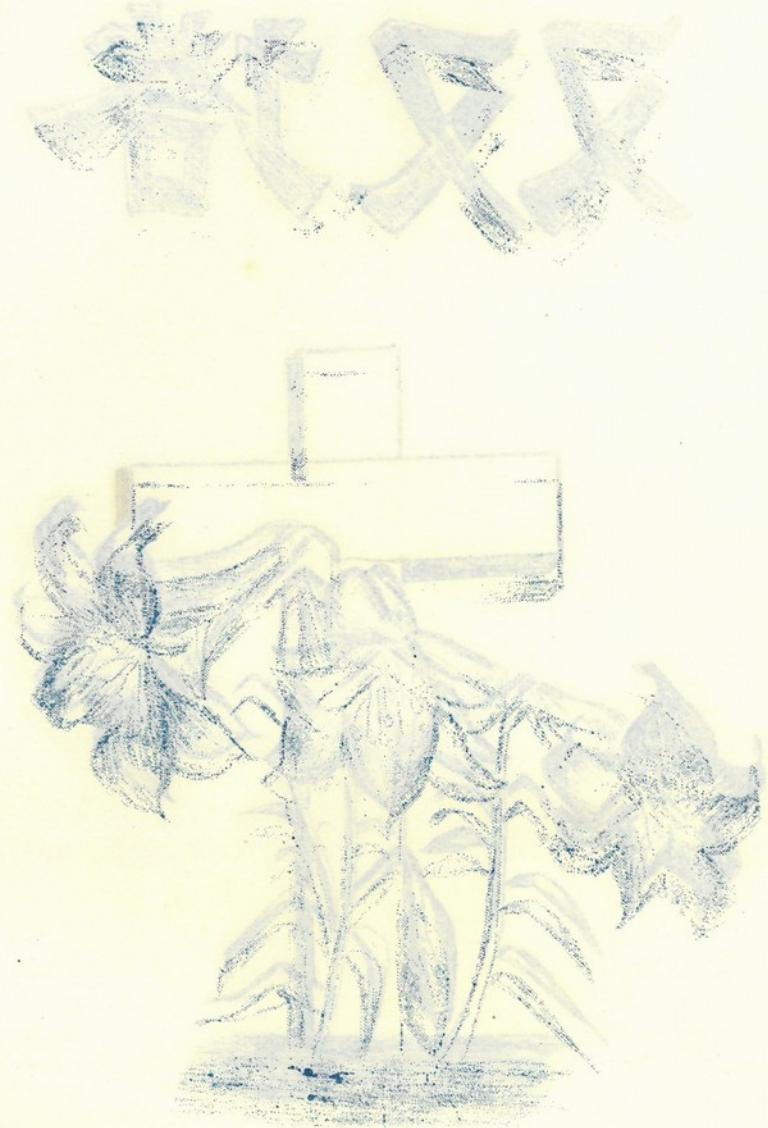
ヘヤで早稲田講堂にて行はれた。

心を重んじて手を握り合ひた事す。越後新潟大

聖母像にて、尊神のなる御心樂の御心御成の御

御正氣に也當せしもの思ふるに於いて此御心

御心御意に於いて是れも御心御意に於いて是れ



e-society

聖

句

熱心にわまえの良心を紀明せよ  
力の及ぶかぎり、眞の悔<sup>痛</sup>と  
謙遜な告白とももて良心を清  
め、明るくせよ。良心の責めを感じ、  
自由に祕蹟に近づくのを妨げる  
ような重苦しいものが何もなく、またそれを意識しないようにつとめよ。

(キリストにならつて  
や七章より)

聖

句

次

冒頭の言葉

私の要理教室

長の子スキー

マダム・ド・ティック

教會日誌

東向福

各スルーフの報告

ヨコフ会・婦人会合同例会報告

男子青年会主催のバタヤ計画

男女合同青年会例会報告

編集後記

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三

勤く聖ヨセフ

教皇ピオ十二世は教皇が聖ヨセフを労働者の標範

として昇場し、その祝日を五月一日、メーテーの日と定めた。爾来何万のキリスト教労働者達はメーテーにヨーロッパの聖マリオ広場埋めている。モスクワがこの制定から株を取るものだと反対したとか。

今日、勤労の意義と価値は危機に瀕している。勤労は単なる生産代械視され、一定の金額で売られる一個の商品と化している。そこには最早や勤労の人格性は消え去り、神の創造の御業への榮誉ある参与の意義も、聖化の道、償いの業としての価値も失われている。從つて働きそのものからは何よりの人生の意義や価値も、精神的喜びや慰めも感じられなくなつた。働きの苦労を支える唯一のものは利己と野望だけである。勤くこと自身の意義も喜びも理解されないために、必然働き以外のところに所謂人生の楽しみを本めざるを得なくなる。その楽しみもやがてはかない水泡と消え去り、残るものは空虚と失望だけである。ある例外的少数の例はなく人々の間に過ぐれたもののように寝食

を忘れていたりのよう仕事や研究に自らを打ちこんでいる。そして仕事の奴隸のように一生を終る。いく。人類に功績を残してゆく者はじめこの慰めである。聖ヨセフは勤く。穀を穫い鋸を引く。その腕の一つ一つの動きは神の御旨を果す。彼は神を崇拝し、そのご光榮のために勤く。彼の勤きは絶えざる祈である。だから仕事はたどい片田舎の一恵人の取るに足らぬものであつても、それは聖なる意義と価値を有していた。彼の汗の一滴一滴は永遠に残る天国の宝としてたくわえられた。そしてこの大工ヨセフの隠れたさくらかな勤きはメシアの國の建設の礎の親石となつた。

だから彼は労働者の輩たるばかりでなく、カトリック・アクションに勤く人々の範であり、聖母の聖なる庇護者と仰がれるのである。

誰がこの勤く聖ヨセフに倣うべことをなさい人か

いふだくな。

ではいざ聖ヨセフのみ跡に。

## 私の聖理教室 || 五 愛の神 (1) ||

後にキリスト教の學問の最大の師と呼ばれるようになつた聖トマス・アクナスは「天の娘、神をまつて何をするか」としつこく訪て先生を「まつせ」とさうです。子供は何ひにつけよくこれは何とさくもので大人は誰の間に聞く答えて教えてゆかねばなりませんか、これにしてもこの大問題には即れた先生隨分困惑して天をさしゆうトマス、アクナスが大きくなつて挙げた學問的業績は結局この子供の頃の疑問をもう抜けて自分で研究した結果だといつてもいいかもしません。トマス、アクナスと同様にキリストを眞の神と信する私達は、頭で聖トマス程深くてトマスと同じ様に心で神様をよく知る事が出来るのです。トマス・アクナス自身使徒信經を説明した本の中でヨリストの御降誕の前に「どんな哲学者でも假のすべての知識をもつてしても、神については、その御降誕の後に一人の老婆が信仰に反つて知つたじの事が出来たのです。私達はこゝで聖トマスの信仰の知識を喜んで学びましよう。キリスト御自身キリストの体である教会が私達に教える事柄は表に「かづけ」で人が耳にさきかず自にも見えなかつた程の事です。なぜなら神を見た人は一人もいません。たゞ御父の懷にあわせになる御母の神(イエス・キリスト)がこれを示しなつた(ヨハネ1:18)からです。私達はこゝで御自分が神の子であることをおしゃいました。そして「私の神である私の父から来たものだ」という事をほつゝ、最初の事柄、神とは何かといつ事に戻つて教会が神様についてどう教えるかをきくましよう。イエス・ス様は、教えになりました。イエス・ス様が神を父と呼ぶのは到底かその神にくくられた鳥に父なる神(ヨハネ)とは非常に違つています。イエス・ス様の場合はむしろ神なる父といつべきでしよう。ヨハネイエス・ス様は、おっしゃる時私の父又あなたたちの父、私の神又あなたたちの神(ヨハネ20:17)といつて方をなさるので、ここでのイエス・ス様が本当の神であるなり父なる神と一緒にニクの神様があるでしようか。神様といふのはそもそもすべてのものを造り今維持しているのですか、もし二つも三つもあればその間には、一例を挙ければ刀に制限があるわけですべてのものに支配する事はできません。これがこんな制限があるといつて

争はそれ自身が創られたものである証拠です。そして全然他のものの助けによらずに存在しているものに反りてすぐそのものが支えられていて、それらの自然的な物の間に自然科学が研究する自然法則があるのですから、そういう凡に秩序立て色々なものがある鳥には、こういふ秩序を全然他の助けなしで支えているもののがねばならずこの支えているものを神といふのです。このように神は創られたものではなく自分でで完璧にあるものなので、力に制限があるわけもなく、従つて二つも三つもある筈はあります。神は唯一の神モテオエ(25)でなければ神である争が出来ないのです。「わゆる神々といわれるものは天にも地にもありて多くの神々が祀らるし、彼の鳥に存在する」(コリント一8:5-6)ともパウロはいっています。ですからイエス様が御自力を神の子といし、父なる神からこの世に遣されたものだ、とおしゃっても二つの神があるという争ではありません。この父なる神と子であると云ふ二つの神と同様の意味でも、一つ聖靈と呼ばれる父と子との間の愛といつていふものの三つがそれされ一つのペルソナでありながら、しかも三つの神ではなく唯一の神として存在して、争を教會は教えます。この教えを三位一体の奥義と言います、それは一体どういう争なのでしょうか。神が唯一でしかも三つあるというのは矛盾した争のようになります。実は、この唯一といふ争と三つといふ争は同じ争について同時に一つでありしかも三つである「トリニティ」という意味ではなく、神といふ争の本性は唯一でこの不可分の唯一の本性を神の三つのペルソナが一緒にもつてゐるという争なので違つてゐるわけでも理由に合わないわけでもあります。そして私はこの争を説明したいと思ひますがそれにして、もこの三位一体という争は人の考える力ですべてわかるわけにはいかないどころかほとんどどういふ争かわからないものなのです。丁度輝いていた太陽かすべてのものを照らして肉眼ではつきり見えるようにならざる太陽自身はあまり輝いていたので肉眼では眼がくらんで見る訳にはゆかない。

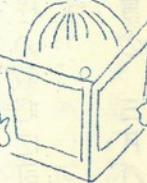
聖ヨハネスキー  
四十日すぎて早、初老の御婦人が生れて始めてスキ  
トといふものに出かけました。行く先は  
近くで空虚な弥彦山上、何しろ  
雪がこれだけ積もっているのを  
見たのは去年の正月と  
これが二度目という事だ。スキもやつと  
ひとから足につけてもらつて一足出すやゑ々  
スツテンドウ。脚の力が弱くてお戻り  
重くて起き上れません。起き上るまで約三十分。丁度  
毎の子が上向きにひっくり返されて起き上れないのと  
まさにそつくり。それから約四時間そこりんでは起き  
上り、こうんでは起き上るのに終始。同行の神父様方  
にやんやんとはやされても御当人は案外ケロリ。ヨロ  
んでいたつて結構面白いし、それに私こうびながら、  
ともいふて默想をしたんのですもの」エーどんな默想  
を「又今は一へんこうぶとなかよく起き上れないもの  
だつてこと」だから精神的に起き上れないで、もかい  
ていゐ方を見つけたう一生懸命親切にしてあはるわ。  
一同タア！」



### マダムード・ブライック

新刊紹介  
◎岩下江一全集 全九巻別冊叢書

小林珍雄編



オ一巻 神学入門 定価 五七〇円	カハ巻 救ライ五十耳若御史 定価 四五〇円
別冊 岩下神父の生涯 小林珍雄著 定価 五九〇円	以上が既刊 発行所 中央出版社

岩下神父様の神学哲学については既に皆様の御承知のことと思いますが余り一般的とは言えませんが別冊岩下神父の御生涯についての方は三森神父様の御説教にもとりあはられたように沢山の教えが含まれ又誰か讀んでもよくわかります。

◎聖ヨハネスの月 カシアノ・M・テテイツヒ稿 定価三〇円

コンベンツアル聖フランシスコ会 発行

三月は聖ヨハネスの月  
聖ヨハネスの信心の具体的な事実そのぐれられた未信者にも向く書。

## 二月の教会日誌

三木林 記

- ◎二月一日（日曜日）初不曜日、朝六時から司祭の聖化と召出の鳥に永遠の大司祭なるキリストのミサが獻げられた。司祭達の鳥、邦人司祭の召出、その養成の鳥に祈り、援助しよう。一粒会の存続を信じですか。○夜七時一八時聖時間、昨年迄毎月初金のお日午後五時半一八時半迄聖体顯示し、自由に聖時を行えるようにしたが参加者は極僅少、今年からは一時にしほり、皆一語に行っている。イエスの聖心はこの一時間の償いの礼拝を渴望された。一人でも多くこの渴望に応じよう。○カルメル会司祭中田師十二指腸潰瘍治療の鳥、ご帰郷、司祭館ニ宿にしほうく泊られる。
- ◎二日初金曜日、聖母劔潔めの祝日、朝もミサかあつたが、夕方六時から歌ミサに先立つて、西村師司式でローリークの祝別と行列があった。
- ◎三日初土曜日、聖母の汚れなきみ心に対する信心のごミサが六時に獻けられ、續いて簡単な降福式があった。
- ◎四日（日曜日）九時のミサ後ヨセフ会の委員会、例

会の下相談を行つ。○双培二月号発行、配布される。○五日（月曜日）日本廿六聖殉教者の祝日、ミサは朝と夕方の二回、夜のミサにつづいて降福式があり、新大病院に午後入院された。

◎九日（金曜日）スキー遊び、高橋師、野田師、濃泉、野田師の妹それに筆者を加えて五名、赤彦山にスキーに行く。或る人は専ら転んで起き上る練習。一度転んだり起き上るのに三十分はかかる。すべて忘れて楽しい一日だった。辛い天候も上々。

◎十一日（日曜日）九時のミサは廿六聖人の祝日、公式歌ミサ。續いて青年会男女合同例会、出席者男四名、女四名、大盛況。やさりにもそくは云われない。研究発表は志賀秀雄君、クワドラジエジモ、アンノについて。

◎十五日（不曜日）筆者は三条教会の落成式に出席東三条駅に近い田園の真中六百坪程の敷地に司祭館、幼稚園舎が落成、聖堂はこれから。

◎十七日（工曜日）一夜青年会委員会、三月の例会について下相談を行つ。

- ◎十八日（日曜日）九時のミサ後、合同委員会開催、新司祭を迎えるについて、及び吾のバザーについて相談する。今まで新司祭に女子青年を中心に編んだレース付アルバー着、その帯ひも、祭だん用靴一足を贈つたが（全部で七八千円相当）、今後毛刀五千円程度として、今迄のものに何かを追加すること。今年はこじ当たり卓上又壁かけの上等な十字架でも贈ることにする。この鳥にその部度各タルーフ毎に寄附（目標額貳万円）を集め、残額は一度に多数新司祭のある時の鳥に預金して置くこと。春のバザーは四月廿二日ご復活祭に行うこと。細部に亘る計画準備は婦人会、女子青年を中心にして行なうこと。算定して正午散会。
- ◎廿一日（水曜日）ヨセフ会、場人会合同例会、力時のミサ後、図書室で開催、世纪一月号二月号の日本カトリック再建百年記念する記録をめぐつてそれぞれ発表、話し合を行う。発表者はヨセフ会からは神田氏

婦人会があり

◎なういましょクリロバートケネディ夫妻の訪日は

皆さんご記憶に新しいことであります。あの忙しい

スケジュールの滞日中（約一週間）御夫人は三回、御主人は二回早朝の平日のミサにあすかられたとのこと。それも周囲の人を煩わすことなく、自分達で教会を探してかけられたのこと。忙しい生活の中でも子供達（エセル夫人は三十幾歳で七人の子の母親）の教育も自らの手で行われること、信仰の人としての「自分の生き方」も、あのきつい日程の間に探してかけられたこと。さうが私を打つたと筆者大養道子女士は述べている。（新潟日報一二月十三日付夕刊「心ある人たち」）

ヨセフ会の依頼（いつでもどうぞ）

親兄弟の鳥、病人の鳥、その他の特別これのためなど、自分の靈名の祝日とが生まれる。ミサ料は三百五拾円。ミサを依頼しよう。

謝礼

質問箱



向<二>私達が持領する本スチア  
ヘペニシとふどう酒ほどにて  
うれで、ミサに用いられるぶどう酒と一般に市販され  
てけるものとどこが違つてゐるのでしょうか。  
<答>御聖体に聖変化されるパン(ボスチア)は純粹の小麦  
粉から作られます。このボスチアは各教会で作つてい  
るところもあるようですが、普通最寄の修道院などで  
作つて貰つてゐるようです。当教会では東京の女子カ  
ルメル会から取り寄せています。

スドウ酒は眞正のスドウ樹の実から作られた純粹のスドウ酒  
で含有的アルコール料はナニパーセントから十ハパーセ  
ントのもの。一般に市販されてゐるのは石の眞正そ  
純粹な、アルコール料について保証がありません。ミ  
サ用のものは教会当局の保証あるものでなければなり  
ません。今当教会で使用してゐるのはスペイン製の  
ものであります。

答 現行教会法では、御聖体を保存に用して才一二六五条から一一二五条に亘つて詳細に規定してあります。そう簡単にどこにでも安置する訳には行きません。それは聖体に対する尊敬の爲と、これに対する不敬を防止する爲であります。ご負担にあるよう家庭祭壇に御聖体を安置しておくことは現行教会法では原則として許されてゐりません。教会当局(聖座)の恩賜的特別な許可があれば個人小聖堂に御聖体を安置保存することが出来ますか、それには色々な教会法上、典礼上の規定を守らなければなりません。普通一般家庭にはまず許されることはない限り。従つてご負担にあるような仕方で各家庭で御聖体を頂くことは出来ません。病人は病院や家庭に御聖体を運んで貰つて拝領することが出来ます。ついでながら申し上げます。朝早く犠牲を払つて教会に来て頂く方がより多くの恩恵があることでしょう。又午後一時迄ならごミサ以外ひと御聖体を頂けることを申し添えておきます。

名勝見聞之報告覽

ヨロフ会 婦人会合同例会結果報告(ハニ月例会)  
月例会は神父様の御都合で、婦人と合同で行なわれた。出席者はヨロフ会は六名、婦人会は十五名で、今が少數でした。流石はヨロフ会の発言等面ではヨロフ会が高かつた。  
例会概要は次の通り

ヨヒフ会 婦人会合同例会結果報告 (二月例会)  
二月例会は神父様の御都合で、婦人と合同で行なわれました。出席者はヨヒフ会は六名、婦人会は十五名とヨヒフ会が少數でしたが、流石はヨヒフ会の発言等の面ではヨヒフ会が高かつた? という所である。

日本カトリック百年の歩みと当教会  
の信者活動  
「日本カトリック百年の歩みと展望」  
大報告（ヨセフ）

失す  
「世紀一月号の伊藤庄治節師のこの記事  
を読んで、我々の祖先の信仰の偉大さと、遺産の豊か  
さに打たれた。そして自から省りみて、もつとしつか  
りしなければ……と思つた。読後感として書き上つて  
来るものは次の二点である。仙台に居た時代、それは

浦川小林両氏司教様の時代であるが、お吉の頃は内  
的充実に重きを置かれ、公教要理の試験など、奥に  
厳しい反面、活動面は消極的であった。これとは反  
対に後者の時代に移ると、活動面が強調された。こ  
の二つの向れに重きを置くのは、毎年余の自分の信仰  
生活を顧みる時、初めは内的生活の堪り下げなく  
して、他人を教えに導くなど出来ないと考えていた  
か、こういう考え方を克服すること——内的生活と同  
時に、自分の外に及ぼす力強く働きかけることを  
考へなければならぬ——いうことであった。信者が  
古くなると、活動面は積極的になるよう内外両面  
の生活にバランスをとることが必要と思われる。オ  
ニギとして、主觀主義に充ちた大学生活を送り、  
そういう人の多いカトリックとは異質な、今の社会  
に対し、カトリック信者としてどういう形で居し  
ていくか。<sup>生ま</sup>の社会と離れた形では取り残されるの  
で、そういう社会の現実と四つに組んでいく努力を重  
ねてこそ、信仰が生きてくるのではなかろうか。自  
己派の信仰の教えにとじこもってはカトリシスムの  
本質にも反するのである。そして、更に具体的な

奥多院の座談会で明符することゝされた。次いで石本、細川西代分坦による世纪新月号の座談会日本カトリック百耳の歩みの紹介が丁寧に行なわれた。續いて三教師による補充的講話、質疑などがあつて後、座談会に入つて。主な御意見は次の通りである。

A「私と一緒に受洗した女学校の先生は、教会といつものではお寺参りと同じで、インテリの末なハ所と思つていいだから、受洗が用があつて初めて教会を訪れ、教理研究会に誘われて出て見えたところ、自己紹介があり

ロソクリしてるのは大学で物理を研究している人より、医者ありと云ふことがあつた。一般的の理解というものはこの程度ではなかろうか。丁度今日の御ミサの福音の、捕かれた種子の落ちた荒地の様に思う。そこで広場、その他の環境で、色々の機会を通して、

カトリックを周囲に知らせるぞしも教員リックのシンパを作る事が大功ではないか。」

に今年は計画の年になつてもよいと思ふ。そしてそのために、こういつ集りが月一回では足りないような年にしたいものである。そしてやめて或るタルトのだけでよいから、もう少し猩々つて日本カトリック西建の百周年を記念するにふさわしいものとして頂きたい。」といふと詳らしも神父様の御挨拶によつて用金した。へ誠に自意養であつたと思ひます。

さてヨセフ会の皆様、婦人会の皆様方には

以上をお詫みになつて、特に神父様の最後の御挨拶を読み下さつて、具体的に何をお考えになりますか。三月例会にはそれそれ皆さんのお考えを希ちよつて詮し合つて見だす如何なものでしよう。ヨセフ会幹事會

聖靈のお導きの下に、されば考えが生まれますよう期しつゝ……。  
（文筆）ヨセフ会幹事會

☆青年会(田力子)

皆様各家庭の大掃除が始まりますので、例年通り巡回致しますが、私達のバタヤに御協力願います。

卷之三

青山延割方面

浜浦町・金衛町・松波町 方面

四月十日（火曜日） 十九時三  
閑屋本村・学校町・旭町 方面

四月二日（水曜日）十九時半  
田屋町、白山浦、川岸町、方面

四月二日(木曜日)十九時半二十時半  
古町十字路の上 方画

四月三日（金曜日）十九時半～二十時半  
古町十字路の下 方面

四月十四日（二曜日） 十九時半（）二十時半  
教會周辺

教会居士

レジオ、マリエとか、聖フランセシオ会とか教会内の活動への協力さえ不足がある。その為精定の僅かな信者が一人で何役もやつていい。信者の一人一人が皆、何奮闘をやつていこうに至りたい。」

○「最近若い人が少ないが、聖歌隊に知り合の子供を引摺って参加させるとかを考えるへそ笑がある。松などとても……まず内的に座下してから、という方が多い。」

○「内的に深まればそれが外的確進刀となつて児しぬければならない。」

○「信者の中には世間的に偉い方をね出さなのでこういう方々からこそ若い人に親しんで教育して欲しい。」

○「各自の考え方で信者として縛まつた方向に動くことは失ふ音が集まつて知り合う機会が必要である。小川さんか双肩にかゝれたような、信者の交流の機会をもっと欲しい。」

九「信者総会とか、隣組といつてどうなものを探するのも一案である。」

## 青年年会便り

### 1 合同例会について

青年会男女合同例会は二月十一日（日）九時ミサ後、信者会館にて行われた。その日、九時のミサの時も青年会のメンバーは少なめであったが、例会が始まってみると、集まる人もわざわざ男子四名、女子四名それに神父様、農泉先生と合計だったの十名、二部屋ぶつとおして使う予定だったが、この有様、ハサクか拍子抜けの様子であった。例会は「始業の祈り」をもって十時四十分始まる。最初は神父様による典礼の勉強。これは男子青年会の例会に連続してやっていたもの。

「典礼入門」の一五一頁「司式者」について、その大要をあげると、

司祭の位を授けるのは基督教である。叙階によつて司祭はキリストの代理者となる。これはキリストが最後の晚餐の席上で定めた司祭職であり、使徒たちより代々伝えられて来た。真の仲介者、大司

祭はキリストのみで、このキリストが司祭職を通して働き給う。

キリストは永遠の大司祭である。キリストは十字架上の死に至るまで犠牲をお捧げになつた。それは今も絶えず続けれれている。キリストは司祭の手を通じて、会衆と共に神に犠牲を捧げる。この点において単なるグルーピングの指導者にしかすぎない、プロテスタンントの牧師と司祭とは大いに懸異る。

典礼の行為は司祭一人の信心ではなく、キリストの神格体の行為である。これをよく表現したミサの獻げ方は歌ミサである。

次に志賀秀雄さんによる「オナ一世の労働回転」（クラウド・ラジエンモ、アンノレの研究発表）があつた。それを要約すると、オナ一世による社会秩序の再建がどの様な意味を持つか、又それを發布された時代的背景は、どの様なものであったかについてのべた。（中略）



### 後記

#### 編

△ 昨年の大雪とうがい本年の冬はとうやら雪害だけは少くして早三月の声を聞こ春の芽はえを感じるようになりました。

△ 一月はヨリノ月です。立派な家庭を築くからには、ちつと多くの人が出席されん事を祈り、十二時二十五分終了した。

#### △

△ いよいよ正月の水曜日より四旬節に入りました。良い御復活祭をお迎え出来ますよう默想致しましよう。

△ 今更性の恩恵が流行してあります。皆々様安らぐも身に御留慕トりますように。

